

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち
教育の小径

No.167

2022 September

9月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生



今月のことば

に かい め ぐ す り
二階から目薬

二階から階下の人に目薬をさそうとしても、思うところに届きません。このことから、思うようにならず、もどかしいことや回りくどくて効果がないことをいいます。

自己評価の機能とは何か

- 自己評価には、自らが学習や生活の目標をもって、自らを教育し、さらに高めようとする意思や態度や能力である「自己教育力」をはぐくむ機能があります。
- 子どもたちに自己評価を促すことによって、子どもは自己理解を深めるとともに、教師は子どもを理解するための貴重な資料を得ることができます。

「自己教育力」をはぐくむ

自己評価に対比する評価は他者評価です。子どもにとって他者とは教師であり友だちです。活動によっては、地域の人から評価を受けることもあります。これまで子どもたちは主に教師という他者から評価されてきました。

教師は指導に当たって目標を設定します。目標が一人一人の子どもにどの程度実現しているのかを見きわめることは教師の重要な仕事です。教師は、目標に照して判断のためのものさし(評価規準)を設定して子どもたちを観察・評価し、指導の改善に生かしています。こうした教師の営みは、目標を単なるお飾りに終わらせず、目標実現の実効性を高めるためにきわめて重要なことです。

こうした評価では、子どもたちの学びの意思が教師の設定した目標の実現に向かって働きます。教師の意図に合わせようとする姿勢が先行します。子どもが自らの学習のめあてや評価規準にもとづいて自らの学習を振り返り、これからの学習のあり方や方向性を見定めるという作用は弱くなります。

教師という他者によってしか、自分の学習状況を捉えることができないのでは、真に主体的に学んでいるとはい

えないのではないのでしょうか。

子どもたちは、自分で自分の学習状況を評価するという、自己評価の作業をとおして自らの学習や生活の目標に向かって自分を高めていこうとする意思や態度、能力である「自己教育力」がはぐくまれます。

自己評価で働く意思

自己評価に自己教育力をはぐくむ機能が備えられているとは、子ども自身が設定し目標やめあてに即して、その子どもなりの規準で点検・評価するという作用が、学習や生活への意欲を高める活力増強剤としての働きをしているということです。自己評価には、子ども自身が学習や生活への動機づけをするとともに、やる気と自信をつける機能が備えられているからです。

子どもが例えば「今日の学習が楽しかったかどうか」を判断・評価するとき、自分なりの規準(ものさし)を設定します。規準は子どもによって異なります。「努力が足りなかった」と判断したとき、この次の時間には頑張ろうと、気持ちを新たにします。逆に、「よく頑張った」と判断すれば、この次の時間も楽しく頑張ろうという意欲をもつようになります。

このように、自己評価には自らを教

育しようとする力を養う重要な働きがあります。

自己評価の留意事項は何か

子どもたちに自己評価を促すとき、教師は次のような点に留意します。

まず、評価の結果をほかの子どもと比較しないことです。自己評価するとき、自分を厳しく見たり、逆に甘く捉えたりするなど、子どもによって判断の規準が異なっているからです。一人一人の子どもにおいてどのように変容しているか。個における成長の過程を学びの証しとして捉えます。

次に、子どもの自己評価の結果を教師の評価(評定)として活用しないことです。子どもの評価規準と教師の評価規準には違いがあるからです。万一両者の評価結果にズレが生じたときには、その背景や理由を当該の子どもにわかりやすく説明します。

さらに、教師が気づかなかつた、一人一人のよさや可能性など子どもの内面を見いだすように努めることです。子どもの自己評価には、教師の子ども理解を深める働きもあります。自己評価の結果を数値化すると、学級全体の傾向がわかります。結果は授業評価の重要な資料になり、そこから授業改善のヒントを得ることができます。

今月の記念日

9月8日

国際識字デー

1965年のこの日に、イランのパーレビー国王が軍事費の一部を識字教育に回すことを提案したことを受けて、ユネスコが識字の重要性を世界に訴える日と決めました。

子どもの言葉

「先生、時間ください」

算数の研究授業を参観していたことです。先生の発問に対して、いろんな意見が出され、考えが拡散してしまいました。收拾がつかない様子でした。意見がはい回っている状況になり、先生も手の打ちようがないようでした。そのとき、ある子どもが椅子に座ったまま突然こう言ったのです。

「先生！グループで話し合いたいの少し時間をくれませんか」

教師が「意見が出ないですね。それでは、少し時間を取りますから、グループで話し合ってください」と促すことは多くの授業で見受けられます。ところが、この授業では、教師ではなく子どもが話し合いのための時間を求めてきたのです。子どもが授業に主体的に参画していることを印象づける言葉として、心に強く残っています。

かつて「子どもたちが学習活動をつくる」といわれたことがあります。子どもたちは教師の指示で動く傾向があります。教師がいちいち指示をしなければ、何もできないのでは真に主体的に学んでいるとはいえません。

前時の終末に課題が残っている場合には、授業の冒頭で「今日は○○○について勉強するんだね」と、子どもが本時の課題を提示することができます。また、授業の場面で「次に先生はみんなに何を聞いたらいかな。質問したらよいことを考えてみてください」などと、教師が発する発問を子どもたちに考えさせることもできます。子どもはこれまでの学習を踏まえて、その延長線上に次の活動を考えます。

子どもが自ら学習活動をつくらうとしている言葉は、授業への参画意識が高まっている証しといえるでしょう。

教育の動向

教育課程の実施状況調査

一般財団法人総合初等教育研究所は「令和2年度における教育課程の実施状況調査」を実施し、その結果を「報告書」にとりまとめました。

本調査は、現行の学習指導要領が全面実施された初年度（令和2年度）において、学習指導要領にもとづく教育課程がどのように実施されたのか。実施上の課題は何かを把握することを目的に行われたものです。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、学校が年度当初から約2か月間休業になりました。そのために、各教科等の授業時数の確保

や予定されている指導内容の取り扱いが課題になりました。調査は校長と教員をそれぞれ対象に、令和3年10月から11月に実施されました。

主な調査内容は、令和2年度の授業時数の確保状況及び確保のための対応策、オンライン授業やプログラミング学習、カリキュラム・マネジメントの実施状況、教科担任制の実施教科、改訂された学習指導要領の受けとめ方、教育改革の効果の認識、勤務状況、研修会の参加状況など多岐にわたっています。平成15年に実施した調査と同じ項目もあります。

調査結果は、本研究所のホームページ（http://www.sokyoken.or.jp/kanjikeisan/kyoikukatei_r02.xhtml）か、「総合初等教育研究所 調査研究」で検索すると閲覧することができます。

北 俊夫の「実践と研究」の足あと 35

2度目の「単身赴任」

岐阜大学には7年5か月在籍し、その間単身赴任の生活が続きました。単身赴任は、昭和59年度に経験した伊豆大島に続いて2度目でした。

赴任したころ大勢の人から「岐阜は山が多く、雪が多いところでしょう」と言われました。岐阜と聞くと、ほとんどの人が「飛騨高山」を想像していたのです。社会科を専門にしている先生でさえそうでした。岐阜県はかつての美濃国と飛騨国から成っていることを知らない人が結構いました。

大学は岐阜市内にあり、最寄りのJR岐阜駅は名古屋駅から快速で18分の距離にあります。

朝は、始発のバスで大学に行きました。大学は岐阜駅から30分ほどの郊外にあります。大学では、毎日キャン

パスの周囲を1時間ほどウォーキングしました。自然の豊かなところで、季節の花を楽しんだり、鳥や小動物に出会ったりすることもありました。

自宅に帰っても誰もいません。大学の食堂で夕食を済ませると、あとは自由な時間がありましたから、まとまった原稿を書くことができました。つい夢中になり、10時過ぎの最終のバスを逃してしまったことが何度もありました。翌朝、研究室をのぞいた学生から「先生、今日は早いね」と言われ、返事に困ったことがありました。

「お酒を飲みすぎないように」とアドバイスをもらいましたが、飲む機会はめっきり少なくなりました。周囲の人たちは自動車通勤していたからです。時々学生と居酒屋に飲みに行く程度でした。健康で楽しく、自由な時間を過ごすことができました。

編集後記

海や川でのレジャーで、注意しなくてはいけないことのひとつが「水難事故」です。インターネットで検索すると、安全にレジャーを楽しむためのガイドラインを簡単に入手できるので、海や川に入る前には、必ず家族や友人同士で確認をしたいものです。(F記)



企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2022年9月1日

INFORMATION

New!

さらに使いやすく

進化しました!

安全ガードつき

彫りやすさUP!!

ハイカーボンステンレス製刃

ぶんげい

きみの手に、みらいの夢を。